

## VII 研究発表業績

## 1 学会等研究発表

年月日	学会等の名称 (開催地)	演 題	発表者
平成 29 年 9 月 7 日	第 58 回大気環境学会年会 (兵庫県)	関東甲信静における PM2.5 のキャラクタリゼーション (第 8 報) (1)	前田主任
9 月 28 日 ～10 月 1 日	陸水学会第 82 回大会 (秋田県)	霞ヶ浦高浜沖における水変わり現象とそれによる水質変動について	中川技師
9 月 28 日 ～10 月 1 日	〃	霞ヶ浦底泥からの <i>Microcystis</i> rDNA の抽出と定量	長濱技師
10 月 20 日	全環研関東甲信静支部水質専門部会 (さいたま市)	石灰窒素散布がハス田における環境負荷要因に及ぼす影響の検討	飯尾技師
11 月 13 日	第 44 回環境保全・公害防止研究発表会 (長崎県)	茨城県における航空機騒音の環境基準達成状況について	沼田技師
〃	〃	霞ヶ浦における底層 DO 濃度の状況について	小室主任
11 月 13 日	第 54 回環境工学研究フォーラム	生態系モデルを用いた霞ヶ浦土浦入におけるアオコ発生機構の検討	長濱技師
11 月 29 日	平成 29 年度全国環境研協議会関東甲信静支部大気専門部会 (埼玉県)	茨城県における有害大気汚染物質の状況	中村主任
〃	〃	茨城県における PM2.5 の状況	北見主任
平成 30 年 3 月 15～17 日	第 52 回日本水環境学会年会 (北海道)	汽水湖潤沼の長期水質変動について	松本室長
〃	〃	霞ヶ浦の生態系サービスの経済評価の検討	北村主任

平成 30 年 3 月 15～17 日	第 52 回日本水環境学会 年会（北海道）	気候変動による霞ヶ浦の水質への影響 解析について	小室主任
〃	〃	基盤整備ハス田群からの流出負荷量 調査について	飯尾技師
〃	〃	外浪逆浦の浚渫窪地における水質成 層の形成と水質への影響	中川技師
〃	〃	霞ヶ浦土浦入におけるアオコ予測シ ステムの構築とその応用	長濱技師
〃	〃	直接浄化施設の稼働による土浦港の 水質浄化効果について	張 流動研究員

## 2 誌上発表

題 名	執 筆 者	掲 載 誌
Semi-analytical prediction of Secchi depth transparency in Lake Kasumigaura using MERIS data※	T. Fukushima, B. Matsushita, W. Yang and L. M. Jaelani	Limnology, 19, 89-100, 2018
Shifts of radiocesium vertical profiles in sediments and their modelling in Japanese lakes※	T. Fukushima, E. Komatsu, H. Arai, K. Kamiya and Y. Onda	Science of the Total Environment, 615, 741- 750, 2018
世界湖沼会議と霞ヶ浦環境科学センター	福島武彦	環境ニュース（埼玉県環境検査研究協会）158, 2-5, 2018.
霞ヶ浦底泥における <i>Microcystis</i> rDNA の分布と季節変動※	長濱祐美, 中川圭太, 菅谷和寿, 富岡典子, 相崎守弘	水環境学会誌, Vol.40, No.4(2017)
生態系モデルを用いた霞ヶ浦土浦入におけるアオコ発生機構の検討※	長濱祐美、阿部真己、松本俊一、福島武彦	土木学会論文集 G（環境）Vol.73, No.7(2017)

※：査読付き論文